

対象国の条件 : アフリカ地域 (主にCARD対象国)

研修コース番号 : 201984692-J002

案件番号 : 201984692

主分野課題 : 農業開発/その他生産基盤整備 (農業機械を含む)

副分野課題 : 民間セクター開発/中小企業育成・裾野産業育成

使用言語 : 英語

案件概要

2019年から開始されるCARD-IIでは、2030年を目標年としてサブサハラアフリカのコメ生産量を56百万トン（2018年の28百万トンの倍）に増産する計画である。この目標を達成するために農業機械化を支援の柱の一つとしている。しかし、各国で農業機械化の取組状況は異なるため、本研修では農業機械化促進のベースとなる農業機械化政策、同政策を推進する制度や組織体制、民間との連携にかかる知識を習得することを目標とする。

目標/成果

【案件目標】
農業機械化戦略策定に必要な知識を習得することを目標とする。

- 【成果】
1. 研修員は、自国の農業政策における農業機械化の位置づけを理解する。
 2. 研修員は、自国の農業機械化の阻害要因を分析し、政策的課題を把握する。
 3. 研修員は、農業機械化を促進するための政策や制度的枠組みについて理解する。
 4. 研修員は、農業機械化促進の前提となる諸条件（農業機械化による便益、営農改善等）を理解する。
 5. 研修員は、農業機械化と民間の役割を理解し、民間参入に関する諸制度を理解する。
 6. 研修員は、農業機械化戦略に向けたロードマップを作成する。

対象組織/人材

【対象組織】
農業機械化を推進する中央政府部署

【対象人材】
上記対象組織の政策策定担当者

内容

1. インセプションレポートに基づいた課題分析・討議
2. 農業の基本政策と農業機械化の政策の位置づけに関する講義
3. 関係政策と法制度、行政組織と人員体制、予算等に関する講義
4. 農業機械化を促進する上での関係諸条件の検討に関する講義
5. 農業機械化と民間の役割、民間との連携、関係諸制度に関する講義
6. 農業機械化と営農に関する講義及び視察
7. 自国の農業機械化促進の課題と政策策定上の留意事項の整理、農業機械化戦略に向けたロードマップ作成・発表・討議

本邦研修期間	2019/11/3～2019/12/21
担当課題部	農村開発部
所管国内機関	JICA筑波（研修業務）
関係省庁	
実施年度	2019～2021

主要協力機関
調整中

特記事項
及び
ホームページ
CARD 事務局ホームページ
<https://riceforafrica.net/index.php/>